

## 会計・固定資産システム変更内容

●バージョンアップを実行する前に以下をご確認ください。

現在のPS7会計システムのバージョンが「7.31.2023.0220」以上であること

●バージョンアップ後は、「7.31.2023.0907」となっていることをご確認ください。

※電子帳簿保存法の対応があるため、「7.31.2023.0831」（当機能の初回リリース）より前のバックアップファイルでの会計データ復元は、データ不整合となるため実施しないようご注意ください。

※No.に(\*)がついているものについては、消費税オプションをご利用のお客様のみの内容です。

➤PS7会計・固定資産のマニュアルを最新化しております。

ユーザーサイトの【マニュアル資料ダウンロード】からご確認ください。

## Ver 7.31.2023.0831

分類	No.	機能名	内容
インボイス対応			
会計	1 (*)	消費税パターンの追加	適格請求書発行対象外事業者（免税事業者）と取引を行う際の、仕入控除経過措置用の消費税パターン（80%控除用、50%控除用）を追加しました。 具体的な番号については、 <a href="#">消費税マニュアル付録の消費税パターン一覧表を参照</a> してください。 ※旧税8%分は「未使用」で追加しています。必要に応じて「使用」に変更してください。
	2 (*)	資金収支仕訳入力 総勘定仕訳入力 支払予定仕訳入力 仕訳修正（元帳形式） 仕訳取込 Dr.Budget連携(仕訳) ※Dr.Budget導入校のみ	<b>支払先が免税事業者の場合</b> 、伝票日付・科目・支払先の組み合わせにより、科目入力時・支払先入力時、経過措置の消費税パターンに自動変換するように修正しました。 ・2023年10月1日～2026年9月30日・・・80%経過措置 ・2026年10月1日～2029年9月30日・・・50%経過措置 ・2029年10月1日～・・・課税対象外  ※詳しくは、 <a href="#">ユーザーサイト『インボイス制度対応動画』</a> をご覧ください。 ※ <b>仕訳入力前に、支払先マスタの適格請求書事業者区分および登録番号を設定</b> してください。 ※各仕訳入力では、支払先にカーソルをあてると吹き出しで適格請求書事業者区分と登録番号が表示されます。 ※ <b>以下のケースでは、自動では経過措置の消費税パターンに変換されません。消費税パターンを直接変更するか、支払先の再設定処理をお願いします。</b> ・既に対象期間の伝票を起票されている場合 ・過去伝票を複写した場合 ・定型仕訳を使用して仕訳を入力した場合  ※仕訳取込およびDr.Budget連携は消費税パターンが空白時のみ上記の動作をします。 ※消費税パターンはTOMAS標準で準備しているコードに対しての変換になるため 学校様が独自で追加されている消費税パターンがある場合は自動変換の対象外になります。 ※立替払は教職員への支払いになるため、実際の支払先業者に応じて、手動で消費税パターンを適切なものに修正してください。
	3	現預金出納帳 元帳（資金収支・総勘定・補助活動） 支払先元帳 目的予算元帳 消費税元帳 補助金元帳	各帳票エディットの表示データ選択に「経過措置凡例文言」を追加しました。 現在お使いいただいているエディット帳票に設定することで、下記文言を出力することができます。 <b>「消費税の先頭に「☆」がついているものは、経過措置の適用対象取引です」</b> 設定方法の詳細は帳票編マニュアルP2-14,15「コラム 元帳のフッターに文字を追加する場合」を確認ください。
	4	仕訳確認リスト 支払予定仕訳確認リスト 仕訳検索リスト 支払予定仕訳検索リスト	CSV出力の最終列に登録番号を出力するように修正しました。 登録番号を出力を行うかどうかは以下画面で設定が可能です。（初期値：出力する）  メニュー：マスタ登録 - ◇法人情報 - パラメータ設定（会計） パラメータ項目：仕訳確認(検索)リストのCSVへ登録番号を出力
	5	支払予定表	帳票およびCSV出力に登録番号を出力するように修正しました。
	6 (*)	マスタ整合	仕訳整合「仕訳（支払予定仕訳）データ初期値設定」の「消費税初期値再設定」にNo.2と同対応を入れました。 （定型仕訳は経過措置変換の対象外です） 対象期間の範囲での一括変更になりますので、 <b>処理の際には十分にご注意願います。</b> ※変換処理を実施される場合は、 <b>事前にバックアップをお取りください。</b>  注意喚起例① とある支払先が2024年1月で適格請求書発行事業者になった場合、2023年10月～12月の取引は経過措置であるべきですが、その取引も通常仕入の消費税パターンに変更されてしまいます。 注意喚起例② 特例のため通常仕入の消費税パターンに手動で変更していた場合、経過措置の消費税パターンに変更されてしまいます。

## 会計・固定資産システム変更内容

分類	No.	機能名	内容
会計	7 (* )	月次決算チェックリスト (会計)	<p>①仕訳チェック内に、支払先の適格請求書発行事業者区分と伝票の消費税パターン整合チェックを追加しました。 → 「支払先の適格請求書事業者区分と消費税パターンのチェック (資金収支/総勘定/支払予定)」 適格請求書発行対象外事業者に通常仕入の消費税パターンが紐づいている または適格請求書発行事業者に経過措置の消費税パターンが紐づいている伝票を抽出します。</p> <p>②仕訳チェック内に、少額特例チェック (インボイス) を追加しました。 → 「課税売上1億円以下の少額特例 (インボイス) のチェック (資金収支/総勘定/支払予定)」 適格請求書対象外事業者で経過措置の消費税パターンが紐づいている明細の総額が1万円未満の 伝票を抽出します。 ※少額特例：課税売上高1億円以下の学校が対象で、一回の取引が1万円未満であれば通常仕入扱が可能になる特例</p>
	8 (* )	消費税収支集計表	<p>①消費税収支集計表 (画面) 「経過措置を含む内訳表を印刷する」のチェックボックスを追加しました。 (科目別消費税一覧表・課税仕入集計表で利用できます。)</p> <p>②科目別消費税一覧表 課税仕入金額の部分に経過措置を含めるように修正しました。</p> <p>③科目別消費税一覧表 (経過措置を含む内訳表) ※新規 課税仕入金額のうち、通常仕入・経過措置80%控除・経過措置50%控除の内訳表を作成しました。</p> <p>④課税仕入集計表 課税仕入金額の部分に経過措置を含めるように修正しました。</p> <p>⑤課税仕入集計表 (経過措置を含む内訳表) ※新規 各消費税計算対応のうち、通常仕入・経過措置80%控除・経過措置50%控除の内訳表を作成しました。</p>
	9 (* )	消費税計算 (原則課税) 消費税計算シミュレーション (原則課税)	<p>消費税計算・消費税チェックリスト・付表1および付表2の追加修正については 2023年9月末に別途リリースを予定しております。ご不便をおかけする形になりますがよろしく申し上げます。</p> <p>9月末のリリースまでに中間納付税額を計算する必要がある学校様につきましては 今回のバージョンアップが適用された状態で再計算していただいても問題ございませんが、 <b>集計期間は必ず「2023年4月～2023年9月」を指定して</b> 計算処理を行ってください。</p>

## 会計・固定資産システム変更内容

分類	No.	機能名	内容
電子帳簿保存法対応			
会計	10	資金収支仕訳入力 総勘定仕訳入力 支払予定仕訳入力	画面にファイル添付ボタンを追加し、電子取引メンテナンス画面（No.11）を起動するように修正しました。 仕訳行単位（行セレクトを右クリック）でも起動が可能です。 <b>※ファイル添付機能を利用する場合は、事前にNo14電子取引保存フォルダ登録を行ってください。</b>  <b>▶クラウドをご利用の学校様はストレージのお申込みが必要です。</b>
	11	電子取引メンテナンス	伝票単位もしくは伝票の行単位でファイル添付および電子取引に係る情報を登録できる画面を作成しました。 以下の情報を登録可能です。登録した情報はNo.12の電子取引履歴照会にて、検索が行えます。 (詳細は日常処理編マニュアルのP3-11~を参照ください) ・ファイル ・名称 ・取引年月日 ・取引金額 ・取引先（支払先） ・備考  ※電子取引ファイルはシステムバックアップの対象外ですので、学校様にて運用のご検討をお願いします。 電子取引ファイルの保存対象期間は帳簿と同様に7年です。
	12	電子取引情報照会	登録した電子取引データ情報を検索する専用の画面を作成しました。 検索した電子取引データのファイルを一括でダウンロードも行うことが可能です。 (詳細は日常処理編マニュアルのP3-13~を参照ください)
	13	電子取引履歴照会	No12のデータ一覧から右クリックを行うことで該当の電子取引データに対する操作（追加・更新・削除）の履歴を確認できる画面を作成しました。 (詳細は日常処理編マニュアルのP3-13~を参照ください)
	14	電子取引保存フォルダ登録	電子取引データファイルの保存フォルダ設定を行う画面を作成しました。 警告容量の設定や、現在のフォルダの使用状況についての確認も可能です。  <b>※ファイル添付機能を利用する場合は、事前に本設定を行ってください。</b> <b>(詳細は日常処理編マニュアルのP3-14~を参照ください)</b>
	15	資金収支への書込（直接計上・未払計上） 資金収支への書込取消	支払予定仕訳で付与した電子取引情報を資金収支仕訳に転記するように修正しました。 取消機能にも対応しています。

## 会計・固定資産システム変更内容

分類	No.	機能名	内容
その他の不具合／改善対応			
共通	16	バックアップ	クラウドでのご利用の場合、バックアップ対象はデータのみしか選択できないようにしました。
会計	17	伝票一覧（資金収支）	仕訳検索結果の一覧に支払先名称を追加しました。 ※支払予定は既に対応済です
	18	資金収支仕訳入力 総勘定仕訳入力	仕訳入力で直接支払先口座を入力する場合、金融機関の支店コード=0が入力できない問題に対応しました。鹿児島銀行で支店コード=0（本店）が存在します。
	19	支払予定仕訳入力	仕訳行摘要を既に入力している状態で、摘要マスタから摘要内容呼び出した際、摘要の内容を置き換えずに既存摘要内容の後ろに結合するように修正しました。 摘要内容を置き換えたい場合は、摘要マスタ選択後に編集を行うか、入力内容を削除して摘要マスタから選択し直してください。
	20	各種帳票（条件保存機能）	各種帳票などの条件保存一覧かの削除が、管理者以外のオペレータでも可能に変更しました。
	21		元帳を部門の範囲指定で印刷した際、元帳右上の部門名称に範囲で指定された部門名を表示するようにしました。
	22	元帳	次の条件で印刷するとシステムエラーが発生する問題を修正しました。 ・帳票種類：総勘定 ・集計科目の合算表示 あり ・表示形式：部門別改頁 ・按分状態：元帳の最後に按分結果を出力
	23	資金収支への書き込み（支払実行）	資金収支への書き込み（支払実行）の際、未払金を共通部門で起こした場合、未払計上時の按分基準を支払実行に引き継ぎ可能にしました。 パラメータの変更が必要です。 マスタ登録→法人情報→パラメータ設定（会計） 共通・会計は会計を選択 対象パラメータ：資金収支への書き込み - 部門按分基準コードを初期化しない 設定値：Y 有効 → 未払時の按分基準を引き継ぎます
	24	按分予算分割処理	同じ部門・科目に「目的予算→予算編成」で作成された予算と「予算入力」で作成された予算の両方が存在する場合に、按分予算分割処理でエラーが発生する問題を修正しました。
	25	人件費残高推移表	CSV出力の以下の問題を修正しました。 ①列見出しが正しく表示されない。 ②最終列が出力されない
	26	目的区分権限リスト	印刷が10ページを超えると印刷エラーとなる問題を修正しました。
	27	特定課税仕入チェックリスト	伝票番号を使用しない設定の場合、特定課税仕入れチェックリストが常に「対象データなし」となる問題を修正しました。
28	操作ログ照会	ログ日時の条件指定で正しく範囲指定をしている場合でもエラーと判定されてしまう問題を修正しました。	
29	消費税計算シミュレーション（原則課税）	消費税シミュレーション（一括比例）で3.非課税売上高の集計 - 非課税売上高（5%）の残高調整に金額が表示されない問題を修正しました。	

## 会計・固定資産システム変更内容

分類	No.	機能名	内容
会計	30	財務分析表	財務分析表の基本金組入後収支比率の算式を修正しました。
	31	借入金登録	借入金登録画面で、返済期限をクリアして更新しても元に戻ってしまう問題を修正しました。
	32	借入金残高推移表	借入金残高推移表のCSV出力で「推移種類：月推移」・「表示形式：合算」の場合に桁あふれエラーが発生する問題を修正しました。
	33		科目明細の表示順が科目明細コードを文字と見なした並びになっていました。数字順になるよう修正しました。
	34	マスタ取込	パラメータ設定(会計)の共通：CSVファイル操作-デフォルト文字コードがUTF8の場合、正しいファイルであっても項目数相違のエラーが発生する問題を修正しました。
	35	Dr.Budget連携（仕訳） ※Dr.Budgetオプション	諸口に金融機関の支店コード=0は未入力エラーと判定されてしまう問題を修正しました。 鹿児島銀行の場合、支店コード 0(本店)が存在します。
	36	支払予定表	金融機関の支店コード=0のとき、支店名称が表示されない問題を修正しました。 鹿児島銀行の場合、支店コード 0(本店)が存在します。
	37	支払通知メール ※支払通知オプション	支払通知メールの本文に金融機関の「支店名」を埋め込んだ場合に正しく出力されない問題を修正しました。
	38	財産目録印刷	固定資産の財産目録区分の桁数が9桁以上の場合に、財産目録印刷がエラーとなる問題を修正しました。
	39	総合振込依頼データ作成	総合振込依頼データ作成時にシステムエラー（数値が無効です）が発生する可能性がある問題を修正しました。



## 会計・固定資産システム変更内容

分類	No.	機能名	内容
固定資産	40		固定資産の管理コードの採番ルールとして、部門や科目をキーに設定している場合、採番後にキー項目を変更するとキー重複が発生する問題を修正しました。
	41	固定資産台帳入力	※リースオプションご利用の場合 リース契約と紐づく資産について、リース契約満了後の除却が不可でしたが、除却できるように変更しました。
	42		一部除却を行った資産を更新する際、「当期償却額が現在取得価額を超えています。」という誤った警告メッセージが表示される問題を修正しました。
	43	リース支払予定登録 ※リースオプション	リース支払予定削除で未組入の連携済みの場合、未組入金額が誤って更新されてしまう問題を修正しました。
	44	年次更新（固基）	※リースオプションご利用の場合 リース満了後自動的に除却となっていたが、所有権移転外ファイナンスリースの資産については除却扱いにしないよう変更しました。
	45	第1号対象資産増減総括表	第1号対象資産増減総括表の処理速度を改善しました。
	46	基本金組入額総括表	用品資産や基本金対象外資産は、本来、基本金残高更新の集計対象外ですが、振替増加・振替増加について集計対象になる問題を修正しました。
	47		一部除却資産を振替した場合に、振替増加・減少に計上されない問題を修正しました。
	48	基本金明細表	基本金明細表摘要編集を行った後、意図した通りの出力順で印刷されない問題を修正しました。
49		同一年度に用途変更と部門振替を実施した場合に、基本金明細表に正しく出力されない問題を修正しました。	

## Ver 7.31.2023.0907 (Ver 7.31.2023.0831の不具合対応)

分類	No.	機能名	内容
会計	1	各種元帳	「照会」ボタンを押した際にシステムエラーになる問題を修正しました。
	2	月次決算チェックリスト（会計）	明細行をダブルクリックした際にシステムエラーになる問題を修正しました。
	3	消費税収支集計表	科目別消費税一覧表（経過措置を含む内訳表）、課税仕入集計表（経過措置を含む内訳表）が出力されない問題を修正しました。
	4	各種定型仕訳登録	画面開局時、データ入力時にシステムエラーになる問題を修正しました。
	5	仕訳検索	伝票一覧画面から再度条件指定を行った際に検索条件がクリアされてしまう問題を修正しました。
	6	各種マスタ登録	ファイル出力ボタンの出力拡張子初期値が「.csv」となり 出力したファイルをうまく開くことができない問題を修正しました。 (バージョンアップ前は「.xlsx」でした)
	7	Dr.Budget連携（仕訳）	実行区分（01～09）が対象に表示されない問題を修正しました。
	8	※Dr.Budget導入校のみ	適格請求書事業者区分：対象外の支払先データが含まれた伝票を連携するとシステムエラーになる問題を修正しました。
	9	仕訳リスト	支払先コードに文字を利用している場合にシステムエラーとなる問題を修正しました。
資産定	10	一部除却入力	一部除却の際、除却簿価の初期値計算および上限チェックの金額が、本来の計算値より備忘価額分少なく計算される問題を修正しました。